

令和 8 年度

東北町教育委員会の
事務の点検及び
評価に関する報告書

〔令和 7 年度の実績〕

東北町教育委員会

教育委員会の事務の点検及び評価の実施について

東北町教育委員会は、「未来を切り拓く人を育む教育・文化のまち」の形成に向け、「多様性を尊重し、創造力豊かで新しい時代を主体的に切り拓く人づくり」を目指し、「夢や志の実現に向け、知・徳・体を育む学校教育」「学びを生かし、つながりをつくり出す社会教育」「次代へ伝える、かけがえのない文化財の保存・活用」「活力、健康、感動を生み出すスポーツ」を教育施策の方針として、青森県教育委員会、家庭や地域社会との連携を図りながら推進しています。

また、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の規定により、教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに、公表することとされています。

東北町教育委員会では、今後の教育行政の効果的な推進と町民への説明責任を果たすことを目的に、町内の学識経験者や教育現場経験者等の意見を拝聴しながら、教育委員会の事務の点検及び評価を実施し、その結果を報告書としてまとめました。

町民の皆さまには、この報告書をご覧になり東北町の教育と取り組みについてご理解いただければ幸いです。

令和8年8月26日

東北町教育委員会

目 次

◇ 令和7年度東北町教育施策の方針	1
◇ 施策分野	2
◇ 施策別主要事業一覧表	3

学 校 教 育

事 項（事 業 名）	頁
I 学校教育の方針と重点	4
施策別主要事業一覧表（重点項目・事業名）	5
〔ア〕 学力向上アクションプラン推進事業	6
〔イ〕 学校評議員配置事業	6
〔ウ〕 通学時安全安心確保対策事業	7
〔エ〕 保・小・中連携教育推進会議への助成事業	7
〔オ〕 学校教育支援員配置事業	8
〔カ〕 特色ある学校づくり推進事業	8
〔キ〕 教材備品整備事業	8
〔ク〕 学校図書等整備事業	9
〔ケ〕 奨学資金貸付事業	9
〔コ〕 学校教育振興会への助成事業	10
〔サ〕 各種学力検査等	10
〔シ〕 国際理解教育振興事業	11
〔ス〕 外国語指導助手招致事業	11
〔セ〕 教育委員会表彰事業	11
〔ソ〕 要保護・準要保護児童生徒就学援助事業	12
〔タ〕 特別支援教育就学奨励事業	12
〔チ〕 中学校体育大会等選手派遣費補助事業	12
〔ツ〕 児童・生徒・教職員学校検診委託事業	13
〔テ〕 学校保健会への助成事業	13
〔ト〕 スクールバス及び東北地区町民バス運行業務委託事業、スクールバス整備事業	14
〔ナ〕 校舎等修繕事業	14
〔ニ〕 校舎等維持管理業務委託事業	14
〔ヌ〕 空調設備整備事業	15
〔ネ〕 一般備品購入事業	15
〔ノ〕 教育相談員配置事業	15
〔ハ〕 台湾台北市立中学校交流事業	16
〔ヒ〕 学校給食費給付金交付事業	16
〔フ〕 学校図書館支援員配置事業	16
〔ヘ〕 通級指導教室指導教員配置事業	17
〔ホ〕 学校ICT支援員派遣事業	17
〔マ〕 修学旅行費支援事業	17

社 会 教 育

事 項（事 業 名）	頁
Ⅱ 社会教育の方針と重点	18
施策別主要事業一覧表（重点項目・事業名）	19
〔ア〕 家庭教育学級	20
〔イ〕 東北町民大学	20
〔ウ〕 高齢者「いきいき教室」	21
〔エ〕 花いっぱい運動	21
〔オ〕 青少年育成町民会議活動支援・協力	22
〔カ〕 子ども会育成連絡協議会活動支援	22
〔キ〕 青年協議会活動支援	22
〔ク〕 連合PTA活動支援	23
〔ケ〕 連合婦人会活動支援	23
〔コ〕 集会施設等改修・整備事業	24
〔サ〕 集会施設等維持管理点検・修繕事業	24
Ⅲ 芸術・文化の方針と重点	25
施策別主要事業一覧表（重点項目・事業名）	26
〔ア〕 生き活き産業文化まつり	27
〔イ〕 文化賞表彰	27
〔ウ〕 文化協会活動支援・協力	28
Ⅳ 資料館等の施設活動方針と重点	29
施策別主要事業一覧表（重点項目・事業名）	30
〔ア〕 文化財環境整備事業	31
〔イ〕 町内文化財調査事業	31
〔ウ〕 遺跡発掘調査事業	31
〔エ〕 歴史民俗資料館、日本中央の碑保存館展示等	32
〔オ〕 郷土芸能保存伝承事業	33
Ⅴ 公民館等の施設活動方針と重点	34
施策別主要事業一覧表（重点項目・事業名）	35
〔ア〕 各種趣味講座の開設	36
〔イ〕 移動（利用）公民館講座の開設	36
〔ウ〕 成人式	37
〔エ〕 実年式	37
〔オ〕 公民館等維持管理点検・修繕事業	38

事 項（事 業 名）	頁
Ⅵ 図書館の活動方針と重点	39
施策別主要事業一覧表（重点項目・事業名）	40
〔ア〕 図書館利用の促進活動	41
〔イ〕 情報ネットワークサービスの実施	41
〔ウ〕 子どもの読書活動推進	42

社 会 体 育

事 項（事 業 名）	頁
Ⅶ 社会体育の方針と重点	43
施策別主要事業一覧表（重点項目・事業名）	44
〔ア〕 スポーツ振興事業の実施	45
〔イ〕 各種大会派遣事業	51
〔ウ〕 研修会等への派遣事業	55
〔エ〕 体育施設有効利用と促進事業	56
〔オ〕 各種体育団体への助成事業	57

令和7年度 東北町教育施策の方針

東北町教育委員会は「未来を切り拓く人を育む教育・文化のまち」の形成に向け「多様性を尊重し、創造力豊かで新しい時代を主体的に切り拓く人づくり」を目指します。

このため

- ◇ 夢や志の実現に向け、知・徳・体を育む学校教育
- ◇ 学びを生かし、つながりをつくり出す社会教育
- ◇ 次代へ伝える、かけがえのない文化財の保存・活用
- ◇ 活力、健康、感動を生み出すスポーツ

を、青森県教育委員会、家庭や地域社会との連携を図りながら推進します。

令和7年3月4日決定

施 策 分 野

I 学校教育の方針と重点

II 社会教育の方針と重点

III 芸術・文化の方針と重点

IV 資料館等の施設活動方針と重点

V 公民館等の施設活動方針と重点

VI 図書館の活動方針と重点

VII 社会体育の方針と重点

別記（第2及び第3関係）

施 策 別 主 要 事 業 一 覧 表

施 策 分 野	重 点 項 目	評価担当課
I 学校教育の方針と重点	(1) 授業の充実 (2) 道德教育の充実 (3) 特別活動の充実 (4) 体育・健康教育の充実 (5) 生徒指導の充実 (6) キャリア教育の推進 (7) 特別支援教育の充実 (8) 環境教育の推進 (9) 国際化に対応する教育の推進 (10) 情報化に対応する教育の推進 (11) 研修の充実 (12) 総合的な学習の時間の充実 (13) 危機管理体制の充実 (14) 保・小・中連携教育の推進 (15) 基本的生活習慣の形成	学 務 課
II 社会教育の方針と重点	(1) 学びを生かし、つながりをつくり出す社会教育の推進 (2) 学校・家庭・地域の連携による学習活動の推進 (3) 地域を支える人材の育成 (4) 社会教育推進のための基盤整備	社会教育 スポーツ課
III 芸術・文化の方針と重点	(1) 芸術・文化活動の推進	
IV 資料館等の施設活動方針と重点	(1) 文化財の保護・保存 (2) 文化財の公開・活用	
V 公民館等の施設活動方針と重点	(1) 公民館運営体制の充実 (2) 生涯学習活動支援の充実 (3) グループ、サークル等の育成	
VI 図書館の活動方針と重点	(1) 図書館の運営とサービスの充実 (2) こども読書活動の推進 (3) 学習情報の提供と学校図書館への支援 (4) 読書団体組織への支援による活動の充実	
VII 社会体育の方針と重点	(1) 地域に根ざしたスポーツの振興 (2) スポーツ環境の整備充実 (3) 職員の能力向上とスポーツ推進委員の活用	

I 学校教育の方針と重点

【基本方針】

郷土に誇りを持ち、多様性を尊重し、創造力豊かで、新しい時代を主体的に切り拓く児童生徒を育成するため、教育は人づくりという視点に立って、学校運営に創意工夫をこらし、夢や志の実現に向け、知・徳・体を育む学校教育の推進と、安全で快適な教育環境の充実に努める。

学 務 課

施策別主要事業一覧表

〔施策分野〕 学校教育の方針と重点		
重 点 項 目	事 業 名	所管課
(1) 授業の充実 (2) 道德教育の充実 (3) 特別活動の充実 (4) 体育・健康教育の充実 (5) 生徒指導の充実 (6) キャリア教育の推進 (7) 特別支援教育の充実 (8) 環境教育の推進 (9) 国際化に対応する教育の推進 (10) 情報化に対応する教育の推進 (11) 研修の充実 (12) 総合的な学習の時間の充実 (13) 危機管理体制の充実 (14) 保・小・中連携教育の推進 (15) 基本的生活習慣の形成	ア 学力向上アクションプラン推進事業	学務課
	イ 学校評議員配置事業	
	ウ 通学時安全安心確保対策事業	
	エ 保・小・中連携教育推進会議への助成事業	
	オ 学校教育支援員配置事業	
	カ 特色ある学校づくり推進事業	
	キ 教材備品整備事業	
	ク 学校図書等整備事業	
	ケ 奨学資金貸付事業	
	コ 学校教育振興会への助成事業	
	サ 各種学力検査等	
	シ 国際理解教育振興事業	
	ス 外国語指導助手招致事業	
	セ 教育委員会表彰事業	
	ソ 要保護・準要保護児童生徒就学援助事業	
	タ 特別支援教育就学奨励事業	
	チ 中学校体育大会等選手派遣費補助事業	
	ツ 児童・生徒・教職員学校検診委託事業	
	テ 学校保健会への助成事業	
	ト スクールバス及び東北地区町民バス運行業務委託事業、 スクールバス整備事業	
	ナ 校舎等修繕事業	
	ニ 校舎等維持管理業務委託事業	
	ヌ 空調設備整備事業	
	ネ 一般備品購入事業	
	ノ 教育相談員配置事業	
	ハ 台湾台北市立中学校交流事業	
	ヒ 学校給食費給付金交付事業	
	フ 学校図書館支援員配置事業	
	ヘ 通級指導教室指導教員配置事業	
	ホ 学校 ICT 支援員派遣事業	
	マ 修学旅行費支援事業	

〔ア〕 学力向上アクションプラン推進事業					
事業概要	◆ 学力低下の危機感と教育改革の動向を踏まえ、学校教育の将来への方向性と児童生徒の学力向上を目指し、本プランを策定した。 ◆ 平成19年度に計画策定。平成20年度から平成24年度までの5か年（第一次計画） ◆ 平成24年度に計画策定。平成25年度から平成29年度までの5か年（第二次計画） ◆ 平成29年度に計画策定。平成30年度から令和4年度までの5か年（第三次計画） ◆ 令和4年度に計画策定。令和5年度から令和9年度までの5か年（第四次計画） ◆ 事業費 〇千円（一般財源 〇千円）				
実績	◆ 教育委員会では、学力向上策の更なる推進のため、学力の的確な把握を継続して実施。調査結果の有効活用のため、各校から取組と実績報告の提出を求めた。また、人的支援、財政的支援などについても、その体制の整備を図った。 ◆ 児童生徒の学力定着の背景にある心理的・環境的要因を客観的に把握するため「学習適応性検査」を実施し、結果を分析・検証することで、より実効性の高いアクションプランへの改訂を図った。 ◆ 各校とも、学力向上アクションプラン基本構想に基づき、取組事項を定め、その実現に向け鋭意努力した。 ◆ 各小中学校の取組に関する情報交換等を行い、指導方法の改善や校内研修の活性化を目的に、「学力向上アクションプラン実践発表会」を開催した。 ・日時 令和7年10月 2日 ・会場 東北中学校（対象：町内小中学校教員）				
評価	各校の実績報告書の結果から課題等を踏まえ、次年度以降のさらなる学力向上推進に取り組む。				
事業の方向性	現状維持	○	改善継続		
	廃止・中止		見直し縮小		

〔イ〕 学校評議員配置事業					
事業概要	◆ 地域住民や保護者が学校運営へ参画する仕組みを制度的に位置づけるものとして、全小・中学校に学校評議員を配置する。 ◆ 事業費 180千円（一般財源180千円）				
実績	◆ 上北小学校と東北小学校は各4名、甲地小学校と中学校2校は各3名、合計17名の学校評議員を配置している。				
評価	校長は幅広く学校運営についての意見を学校評議員に求め、その意見を取り入れた学校運営が行われることで、地域社会に開かれた学校づくりを推進し、保護者や地域住民との意思疎通や協力関係を築くことに寄与している。				
事業の方向性	現状維持	○	改善継続		
	廃止・中止		見直し縮小		

〔ウ〕 通学時安全安心確保対策事業					
事業概要	◆ 児童生徒の通学時の安全を確保するため、安全パトロール隊による登下校時の通学路巡回を奨励するとともに、防犯ブザーを携帯させ、安全・安心な地域づくりを図る。 ◆ 事業費 100千円（一般財源100千円）				
実績	◆ 小学校新1年生を対象に防犯ブザーを各校へ計98個配布しその活用を図った。 購入総数103個 98個配布 5個予備				
評価	安全パトロール隊の通学路巡回や防犯ブザーの携帯により、登下校時の事故や地域犯罪の未然防止、抑止効果につながっている。				
事業の方向性	現状維持	○	改善継続		
	廃止・中止		見直し縮小		

〔エ〕 保・小・中連携教育推進会議への助成事業					
事業概要	◆ 幼児教育から小学校教育、そして中学校教育への円滑な接続を図るため、講演会、研修会、情報交換会などを開催して、保育園・小学校・中学校の連携教育の推進及び充実を図ることに対して助成。 ◆ 事業費 687千円（一般財源687千円）				
実績	◆ 重点項目として、次の事業を実施 （１）アンケート調査結果に基づく取組 （２）保・小・中、相互間の情報提供（連絡票、入学説明会、諸行事案内、保育園・学校だより） （３）保・小・中教職員の合同研修、情報交換会等の開催 （４）園児・児童・生徒・地域の交流活動 （５）保育・授業の相互参観の開催 （６）保護者の連携・交流事業（講演会、家庭教育学級等）				
評価	各中学校区において重点項目事業は概ね実施され、保⇄小、小⇄中、保⇄中、相互の交流と情報交換により小中学校へのスムーズな移行が可能となっている。				
事業の方向性	現状維持	○	改善継続		
	廃止・中止		見直し縮小		

〔オ〕 学校教育支援員配置事業					
事業概要	◆ 児童生徒の学力向上を図るための助言及び支援と、特別な支援を必要とする児童生徒の教育体制の充実を図るため、各校に学校教育支援員を配置する。 ◆ 事業費 44,619千円（補助金 28,000千円、一般財源16,619千円）				
実績	◆ 小学校20名、中学校6名の合計26名（上北小9名、甲地小3名、東北小8名、上北中3名、東北中3名）の教育支援員を配置した。				
評価	教職員と連携協力し、児童生徒の学力向上に努めた。また、児童生徒の不安・悩みの解消を図り教育現場から高い評価を受けている。平成27年度から事業費については、防衛省より調整交付金の助成を受けて事業を実施している。				
事業の方向性	現状維持	○	改善継続		
	廃止・中止		見直し縮小		

〔カ〕 特色ある学校づくり推進事業					
事業概要	◆ 学校教育の充実を図るため、児童生徒や地域の実態等を十分踏まえ、個性や創意工夫を生かした特色ある教育活動を実施する。 ◆ 事業費 2,740千円（一般財源2,740千円）				
実績	◆ 小学校3校 1,444千円 宿泊学習、学力向上対策、学習補助教材等 ◆ 中学校2校 1,296千円 学力向上対策、部活動推進、生徒会活動推進等				
評価	・こどもや地域の特性を踏まえ、各校の独自性、創造性が発揮された。 ・自ら学び、考える力の育成、個性を生かす教育が図られた。 ・学習補助教材費、宿泊学習等の保護者負担の軽減が図られた。				
事業の方向性	現状維持	○	改善継続		
	廃止・中止		見直し縮小		

〔キ〕 教材備品整備事業					
事業概要	◆ 教材備品 小・中学校5校の教材備品（新規・更新）の購入 ◆ 事業費 6,731千円（一般財源6,731千円）				
実績	◆ 教材備品 小学校 262千円 中学校 6,469千円				
評価	・指導書等及び教育教材備品の購入をした。おおむね学校の要望どおり実施できた。 今後も教育環境の整備を図る。				
事業の方向性	現状維持	○	改善継続		
	廃止・中止		見直し縮小		

〔ク〕 学校図書等整備事業					
事業概要	◆ 義務教育現場における読書環境の充実を図る。 ◆ 事業費 1,028千円（一般財源698千円、指定寄附金330千円）				
実績	◆ 図書 小学校439冊（610千円）、中学校2校計239冊（418千円） 小・中学校合計678冊（1,028千円）※寄贈本及び譲渡本を含む				
評価	・学校図書の整備により読書環境の充実が図られた。標準算定冊数からみた蔵書の達成率を小中学校共に100%以上を継続している。学力向上は「読書力」と相関関係があることから、今後ともその充実を図る。				
事業の方向性	現状維持	○	改善継続		
	廃止・中止		見直し縮小		

〔ケ〕 奨学資金貸付事業					
事業概要	◆ 大学への進学を希望し、経済的事由により進学及び在学が困難な者に対して必要な資金を貸付し、学習意欲の向上と人材育成を図る。 入学一時金 300,000円以内・月額80,000円以内				
実績	◆ 令和7年度奨学資金貸付審査委員会 令和7年3月24日 審査委員：東北町教育委員 貸付者数 18名（うち新規貸付者 6名） 償還者数 44名 ◆ 貸付金 16,140千円、返還金 9,957千円、寄付金 30,000円（1名） ◆ 運用額137,993千円、滞納者数9名 滞納額5,387千円				
評価	・令和5年度貸付分から月額の上限を5万円から8万円に引き上げ、また、貸付範囲も大学のみに貸付対象であったものを短期大学及び専門学校等にも拡大している。その効果もあり、減少傾向であった申請者は年々増加している。				
事業の方向性	現状維持	○	改善継続		
	廃止・中止		見直し縮小		

〔コ〕 学校教育振興会への助成事業					
事業概要	◆ 学校教育振興を図ることを目的とし、児童生徒の文化及び体育の振興に関する事業を実施。また、教職員の資質向上のため、県内外への研修参加に対して助成。 ◆ 事業費 1,567千円（一般財源1,567千円）				
実績	◆ 令和7年度総会：令和7年5月15日 10名参加 ◆ 学芸委員会 607千円 作品集「たらっぽ」発刊：令和8年1月 ◆ 体育委員会 96千円 体力向上サポート費 30千円×小学校3校 ◆ 研修委員会 520千円 ふるさと研修：令和7年7月28日開催 15名参加 研修費助成：町内各校研修費として配分（1校あたり50,000円） 教科等研修費：町内各校に配分 ◆ 事務局費 344千円 「東北町の教育」発刊：令和7年4月1日				
評価	・目的達成のため各委員会において、各種事業が実施された。 今後も継続的に本助成事業が行われることにより、より良い学校教育振興が図られる。				
事業の方向性	現状維持	○	改善継続		
	廃止・中止		見直し縮小		

〔サ〕 各種学力検査等					
事業概要	◆ 児童生徒の学力の実態を客観的に把握し、各教科の学習指導及び進路指導に活用するためそれぞれの検査を実施する。 1. 標準学力検査 2. 新学年別知能検査 ◆ 事業費 277千円（一般財源277千円）				
実績	◆ 小学校 標準学力検査 0千円、新学年別知能検査149千円 就学時知能検査14千円 ◆ 中学校 標準学力検査 0千円、新学年別知能検査114千円				
評価	・各種検査結果をもとに、各学校において検査結果を活用し、学習指導、進路指導、各種教材活用・購入の参考となっている。				
事業の方向性	現状維持	○	改善継続		
	廃止・中止		見直し縮小		

〔シ〕 国際理解教育振興事業					
事業概要	◆ 外国人学校等の訪問交流・県国際交流員派遣を実施し、外国生活・文化習慣を実際に体験する機会を与え、国際理解教育の充実や国際社会に対応できるコミュニケーション能力を身に付ける。 ◆ 事業費 150千円（一般財源150千円）				
実績	◆ 異文化交流事業 町内小中学校30千円×5校				
評価	・小・中学校で異文化交流事業を実施。国際交流員や他国の生徒との交流を通し、生の異文化に触れられる貴重な機会となっている。				
事業の方向性	現状維持	○	改善継続		
	廃止・中止		見直し縮小		

〔ス〕 外国語指導助手招致事業					
事業概要	◆ 全小学校を対象に、外国語指導や教材作成の補助、及び特別活動への協力などのため派遣する。また、地域における国際交流活動への協力。 ◆ 事業費 8,440千円（一般財源 8,440千円）				
実績	◆ 外国語指導助手2名 ◆ 小学校3校へ派遣				
評価	・町内全小学校の授業及び外国語活動の時間に派遣しており、授業等を通して、外国語に触れる機会の拡大や充実、コミュニケーションへの関心・意欲の向上が図られた。				
事業の方向性	現状維持	○	改善継続		
	廃止・中止		見直し縮小		

〔セ〕 教育委員会表彰事業					
事業概要	◆ 東北町に住所を有する児童生徒及び東北町内の小学校及び中学校に在籍する教職員並びに教育に関係する町民で、文化・スポーツ活動の振興に寄与したもの、優秀な成績を収めたもの及び善行の著しいものを表彰する。 ◆ 令和7年度は社会教育スポーツ課の文化賞・体育スポーツ賞授与式と同時開催 ◆ 事業費 177千円（一般財源177千円）				
実績	◆ 教育委員会表彰審査会：令和8年1月30日 審査：東北町教育委員会 ◆ 教育委員会表彰 文化賞・体育スポーツ賞授与式：令和8年2月15日 場所：東北町コミュニティセンター 【奨励賞】 小学校 78名、中学校 57名				
評価	・事業概要に沿って審査し、表彰を行った。				
事業の方向性	現状維持	○	改善継続		
	廃止・中止		見直し縮小		

〔ソ〕 要保護・準要保護児童生徒就学援助事業					
事業概要	◆ 経済的理由によって就学困難と認められる学齢児童生徒の保護者に対して、学用品費等の一部を援助する。 ◆ 事業費 4,824千円（国・県費0千円 一般財源4,824千円）				
実績	◆ 要保護認定者数 0名 修学旅行費 0千円 ◆ 準要保護認定者数 107名 学用品費等1,869千円、新入学用品費1,162千円、修学旅行費1,606千円、給食費187千円				
評価	・就学援助が必要な児童生徒に対して、随時審査・認定し、適正な扶助費交付に努めた。 平成30年度から、学校給食費給付金交付事業の開始により実質的に保護者の給食費負担は無くなった。ただし、他市町村から就学（区域外就学）している児童生徒については有償であるが、準要保護児童生徒として認定した場合は本事業で支援している。				
事業の方向性	現状維持	○	改善継続		
	廃止・中止		見直し縮小		

〔タ〕 特別支援教育就学奨励事業					
事業概要	◆ 特別支援学級に在籍する児童生徒に対し、学用品費等の一部を支給する。 ◆ 事業費 929千円（国・県費370千円、一般財源559千円）				
実績	◆ 認定者数49名、学用品費等369千円、新入学用品費202千円、修学旅行費358千円				
評価	・教育支援委員会において入級した児童生徒に対し、適正に審査し奨励費を交付した。 なお、給食費は学校給食費給付金へ移行している。				
事業の方向性	現状維持	○	改善継続		
	廃止・中止		見直し縮小		

〔チ〕 中学校体育大会等選手派遣費補助事業					
事業概要	◆ 中体連大会及びそれに準じる大会への選手派遣費の補助 ◆ 事業費 2,928千円（一般財源2,928千円）				
実績	◆ 上北中 延べ4件（ソフト、陸上、バレー 等） ◆ 東北中 延べ11件（テニス、陸上、スキー 等） ◆ クラブチーム 延べ5件（柔道、剣道）				
評価	・スポーツマンシップの涵養、スポーツ技術の向上、スポーツによる善導及び生徒相互の親睦と社会性の伸張が図られた。				
事業の方向性	現状維持	○	改善継続		
	廃止・中止		見直し縮小		

〔ツ〕 児童・生徒・教職員学校検診委託事業					
事業概要	◆ 児童・生徒・教職員の健康診断のための諸検査を実施 児童生徒 耳鼻科・眼科・尿・貧血（小５・６年、中学生全員） 心電図（小１・４年、中１年）・骨密度（中２年） 学校教職員 結核検診・複合型検診（尿・心電図・血液検査等） 胃がん検診（４０歳以上） ◆ 事業費 ２，６８４千円（一般財源２，６８４千円） 内訳 小学校 １，６８４千円 中学校 １，０００千円				
実績	◆ 受診率 児童生徒 ９８.０％ 学校教職員 ７４.５％ （１日ドック受診者は、受診者数に含まない）				
評価	・医療機関、学校側の協力により、検診の円滑な実施及び高受診率が達成された。 教職員は、夏季休業中に複合型検診・結核検診・胃がん検診を実施（場所：コミセン、１日設定）欠席者は、後日青森県総合健診センターで受診した。				
事業の方向性	現状維持	○	改善継続		
	廃止・中止		見直し縮小		

〔テ〕 学校保健会への助成事業					
事業概要	◆ 町の学校保健の充実発展を図り、あわせて地域社会の保健安全思想の普及発展に寄与することを目的とし、学校及び家庭における健康増進などに関する事業を展開するとともに、会報を発行するなど学校保健及び学校安全などの向上を図るための事業に対して助成。 ◆ 事業費 ５１７千円（一般財源５１７千円）				
実績	◆ 新入学児童への歯ブラシ贈呈（４月）、会報発行（２月）、役員会（年３回）、総会（５月）、保健主事部会（年４回）、養護教諭部会（年６回）、学校保健研究大会（１２月）等。				
評価	・本会の目的及び事業の推進が図られた。				
事業の方向性	現状維持	○	改善継続		
	廃止・中止		見直し縮小		

〔ト〕 スクールバス及び東北地区町民バス運行業務委託事業、スクールバス整備事業				
事業概要	◆ 児童生徒の通学の確保を図る。 上北地区2台 東北地区5台 ◆ 住民の交通の確保を図り福祉の増進と町の活性化に資するため、1日2コース運行する。 ◆ 事業費 スクールバス及び町民バス運行業務委託事業 ※町直営バスで補えない東北地区一部区間は外部委託バスを運行 109,901千円（県支出金80,000千円、一般財源29,901千円）			
実績	◆ スクールバス利用者 上北地区134名 東北地区102名 ※本委託事業の利用者数を記載。町直営運行バス利用者数を除く。			
評価	・スクールバス、町民バス共にスムーズに利用者を送迎できている。			
事業の方向性	現状維持	○	改善継続	
	廃止・中止		見直し縮小	

〔ナ〕 校舎等修繕事業				
事業概要	◆ 安全・安心な教育環境整備の実施、建築基準法等の法令改正に伴う施設整備の実施。 ◆ 事業費 5,336千円（一般財源5,336千円） 内訳 小学校 1,113千円 中学校 4,223千円			
実績	◆ 各小中学校からの要望等による、安全・安心な教育環境の整備のための修繕等を実施した。（上北中学校長室エアコン修繕、上北中学校構内交換設備修繕、東北中学校防火シャッターバッテリー交換修繕等）			
評価	・学校教育になるべく支障ないように配慮して実施した。また、緊急性を要するものについても効率よく実施された。教育環境維持のため、毎年実施する。			
事業の方向性	現状維持	○	改善継続	
	廃止・中止		見直し縮小	

〔ニ〕 校舎等維持管理業務委託事業				
事業概要	◆ 消防法・建築基準法等各法令による点検管理業務、安全・安心な教育環境の充実を図るため法令外の点検管理業務等の実施。 ◆ 事業費 41,646千円（一般財源41,646千円） 内訳 小学校 26,187千円 中学校 15,459千円			
実績	◆ 各法令・法令外に係る点検管理業務は学校側と協議の上、計画的かつ効率よく実施した。			
評価	・学校側と協議の上、計画的に実施できた。これにより、安全・安心な教育環境の維持管理が図られた。法令・法令外点検維持業務については、毎年実施する。			
事業の方向性	現状維持	○	改善継続	
	廃止・中止		見直し縮小	

〔ヌ〕 空調設備整備事業					
事業概要	◆ 上北中学校音楽室に冷房設備を整備 ◆ 事業費 1,979千円（一般財源1,979千円）				
実績	◆ 上北中学校 音楽室				
評価	・学校教育に支障のないよう配慮し実施した。これにより、教育環境の改善が図られた。				
事業の方向性	現状維持	○	改善継続		
	廃止・中止		見直し縮小		

〔ネ〕 一般備品購入事業					
事業概要	◆ 小・中学校5校の一般管理用備品（更新）の購入 ◆ 事業費 315千円（一般財源315千円）				
実績	◆ 一般備品 小学校 315千円、中学校 0千円				
評価	・各小・中学校の一般備品購入事業は概ね学校の要望どおり実施できた。今後も教育環境の整備を図る。				
事業の方向性	現状維持	○	改善継続		
	廃止・中止		見直し縮小		

〔ノ〕 教育相談員配置事業					
事業概要	◆ 不登校やいじめの問題をもつ児童生徒及び保護者等の相談に応じるなど、学校教育の充実と振興を図るため、小・中学校に教育相談員を配置する。 ◆ 事業費 7,151千円（一般財源7,151千円）				
実績	◆ 小学校2名、中学校に2名の教育相談員を配置した。				
評価	・平成27年度から設置開始し、不登校やいじめ、特別支援教育等の問題をもつ児童生徒の相談に応じるなど、教職員と連携協力しながら学校教育の充実と振興に努めた。 児童生徒の不安・悩みの解消を図り教育現場から高い評価を受けている。				
事業の方向性	現状維持	○	改善継続		
	廃止・中止		見直し縮小		

〔ハ〕 台湾台北市立中学校交流事業					
事業概要	◆ 台湾台北市立天母國民中学と町立上北中学校及び町立東北中学校との姉妹校締結を受け、定期的な相互訪問を実施し、歴史や文化等異文化交流による相互理解や国際理解を深め、生徒たちのグローバルな人間形成を目指す。 ◆ 事業費 3,998千円（一般財源 3,998千円）				
実績	◆ 令和7年度は、姉妹校である天母國民中が来町し授業体験やホームステイなどの交流を実施した。				
評価	・ 交流を通じ、生徒たちによる相互理解や国際理解を深めることができた。 令和8年度は、台湾台北市天母國民中学に訪問する予定である。				
事業の方向性	現状維持	○	改善継続		
	廃止・中止		見直し縮小		

〔ヒ〕 学校給食費給付金交付事業					
事業概要	◆ 保護者の経済的負担の軽減、教育の充実、子育て支援を目的として、児童生徒の保護者に学校給食費給付金を交付する。 ◆ 事業費 60,247千円（国補助金40,000千円、県補助金4,457千円、一般財源15,790千円）				
実績	◆ 学校長や保護者からの請求をもとに、本給付金を支給した。 ・ 交付決定者数 小学校666人、中学校348人				
評価	・ 本事業により、保護者の経済的負担の軽減が図られた。 R7年度より基金事情から単年度事業に移行				
事業の方向性	現状維持	○	改善継続		
	廃止・中止		見直し縮小		

〔フ〕 学校図書館支援員配置事業					
事業概要	◆ 学校図書館の整備・充実と児童生徒が本と出会う機会を支援し、子ども読書活動の推進を図るため、学校図書館支援員を全小中学校へ巡回させる。 ◆ 事業費 2,148千円（一般財源2,148千円）				
実績	◆ 2名の学校図書館支援員を配置した。				
評価	・ 令和3年度から支援員を配置したことで、図書システムの導入や図書整備が円滑に進み、学校図書館の利用が活性化した。今後も図書担当教諭との連携を図りながら、学校図書館を充実させ、児童生徒の読書活動を推進する。				
事業の方向性	現状維持	○	改善継続		
	廃止・中止		見直し縮小		

〔ハ〕 通級指導教室指導教員配置事業				
事業概要	◆ 通級による指導を必要とする生徒の障がいの程度に応じた個別指導を行うことで、学校生活及び授業時における困難の改善・克服を図る。 ◆ 事業費 5,740千円（一般財源5,740千円）			
実績	◆ 上北中学校に1名の通級指導教室指導教員を配置した。			
評価	・令和3年度から本教員を配置したことで、個々の生徒に寄り添い、困り感の解消を目指して専門的な知識を生かした丁寧な指導を行うことができた。 利用者の減少、また当該職員が県費負担教職員として採用されたため7年度にて終了。			
事業の方向性	現状維持		改善継続	利用者の減少等により事業を廃止。
	廃止・中止	○	見直し縮小	

〔ホ〕 学校ICT支援員派遣事業				
事業概要	◆ 文部科学省が提唱するGIGAスクール構想により、1人1台端末（タブレットPC）整備を実施したが、使用する児童生徒や教員が授業等での利活用を進める上で、ICT機器の操作や活用方法に不慣れの教員が見受けられることから、専門的な知識を有するICT支援員を各学校に週1回派遣し、支援に当たることを目的とする。 ◆ 事業費 4,620千円（過疎対策事業債4,600千円、一般財源20千円）			
実績	◆ 小学校3校、中学校2校に週1回ICT支援員を巡回派遣し、児童生徒への端末操作や教員への端末を使用した授業準備支援等を実施した。			
評価	・各学校にICT支援員を派遣したことにより、分からないことをすぐ聞ける体制ができ、以前よりも児童生徒や教員が授業等へ積極的にICT機器を利活用するようになった。 今後も引き続き、学校へのICT支援を行っていく。			
事業の方向性	現状維持		改善継続	支援体制の充実を図り事業継続を目指す。
	廃止・中止		見直し縮小	

〔マ〕 修学旅行費支援事業				
事業概要	◆ 小・中学校及び高等学校等で実施する修学旅行の際に、子育て世代の経済的負担を軽減するとともに、児童生徒の健全な育成を支援するため、保護者が負担する修学旅行に要する経費について、補助金を交付する。 小学生：30,000円・中学生：50,000円・高校生：60,000円 ◆ 事業費 12,810千円 （青森県学校給食費無償化等子育て支援市町村交付金 12,732千円、一般財源78千円）			
実績	◆ 小学校3校、中学校2校及び高等学校で実施する修学旅行に対して補助金を交付した。			
評価	・本事業により、保護者の経済的負担の軽減が図られた。 R7年度より高校生を追加した。			
事業の方向性	現状維持		改善継続	手続きの簡略化を図るとともに財源確保に努め事業継続を目指す。
	廃止・中止		見直し縮小	

Ⅱ 社会教育の方針と重点

【基本方針】

生涯学習の視点から、教育・福祉・保健等各関係機関・各種団体との連携を図りながら、町民が新たな知識や技術を学び、生涯にわたって自己の向上を目指し、生きがいのある充実した生活を送るとともに、豊かで住みよい地域社会を形成することができるよう、学びを生かし、つながりをつくり出す総合的な社会教育の推進に努める。

社会教育スポーツ課

施策別主要事業一覧表

〔施策分野〕 社会教育の方針と重点		
重 点 項 目	事 業 名	所管課
(1) 学びを生かし、つながりをつくり出す社会教育の推進 (2) 学校・家庭・地域の連携による学習活動の推進 (3) 地域を支える人材の育成 (4) 社会教育推進のための基盤整備	ア 家庭教育学級	社会教育 スポーツ 課
	イ 東北町民大学	
	ウ 高齢者「いきいき教室」	
	エ 花いっぱい運動	
	オ 青少年育成町民会議活動支援・協力	
	カ 子ども会育成連絡協議会活動支援	
	キ 青年協議会活動支援	
	ク 連合PTA活動支援	
	ケ 連合婦人会活動支援	
	コ 集会施設等改修・整備事業	
	サ 集会施設等維持管理点検・修繕事業	

〔ア〕 家庭教育学級					
事業概要	◆ 家庭教育において、心身ともに健康な子どもの育成を図るため、保護者等が家庭で果たす機能と役割の重要性を理解する学習の場として学校、保育園（所）単位で開設。 ◆ 開設場所：町内の小・中学校、保育園（所）等 12保育園・3小学校・2中学校で開設する。 ◆ 開設期間：令和7年4月～令和8年3月 ◆ 学習時間：1回2時間程度、年2回を目安に継続的・計画的に学習 ◎事業費：170千円（一般財源170千円）				
実績	☆ 5保育園・2中学校で計7回開催。 ☆ 開催内容：陶芸教室・染物体験・思春期教室・郷土料理等を実施。				
評価	・学校・家庭・地域の連携を図り、自主的な保護者等の教育力の向上を期待し、継続して実施する。また、希望時には報道機関へ取材希望を取り次いでおり、実施内容の活性化を図っている。				
事業の方向性	現状維持	○	改善継続		
	廃止・中止		見直し縮小		

〔イ〕 東北町民大学					
事業概要	◆各界の著名な講師による講演会や映画等の開催により、町民に豊富な情報を提供することにより、町民の学習意欲の高揚を図り、生涯学習の町づくりを推進する。 また、東北町民大学運営委員会を設置し講師選定等を行う。 ◎事業費：1,000千円（一般財源1,000千円） 4,420千円（一般財源4,420千円）※町制施行20周年記念				
実績	☆ 11月18日に町制施行20周年記念 わらび座公演を実施。11月21日に、十日市秀悦氏を迎え、南部弁講座、12月5日には町制施行20周年記念講演でゴルゴ松本氏を迎えた。 ☆ 東北町民大学運営委員会を設置し、講師選定から、講演会当日の運営等多岐にわたる業務を行っている。				
評価	・参加者へのアンケートを実施しており、回答のほとんどが好評であることから、これからも質の高い講演会を開催していきたい。				
事業の方向性	現状維持	○	改善継続		
	廃止・中止		見直し縮小		

〔ウ〕 高齢者「いきいき教室」					
事業概要	◆年間を通して幅広い分野の学習を行い、同年代の生きがいつくり、健康づくり、仲間づくりの促進を目的としている。 ◎事業費：５０千円 （一般財源 ５０千円）				
実績	少子高齢化の進む現代社会において、高齢者の健康づくりを図るとともに、ニュースポーツ「モルック」を通じて、子供との世代間交流をおこなった。 令和８年３月１４日実施。 参加：大人１５名 子供１５名（計３０名）				
評価	・すでに体験したことのある子供たちと高齢者がモルック競技を通じて、チーム一体となって勝利を目指すために作戦を立てたりと、よい世代間交流となった。				
事業の方向性	現状維持		改善継続		包括支援センター、保健衛生課等で同様の活動があることから、事業を縮小する。
	廃止・中止		見直し縮小	○	

〔エ〕花いっぱい運動					
事業概要	◆町民憲章の中で、「花とみどりを育て、美しい町」を宣言しており、その実践の一環として、町内の各地域・学校・事業所等に花の苗を供給し、地域の人々が自ら花を育てることで心に安らぎをもたらし、住みよい美しい町づくりに努めることを目的とする。 ◎事業費：1,635千円（一般財源1,635千円）				
実績	☆事業費実績 事業費1,635千円 （内訳：マリーゴールド黄22,000本、橙25,000本、サルビア15,000本 合計62,000本） ☆花苗配布日、場所、配布団体数 上北地区 6月11日 町民文化センター 17団体 東北地区 6月12日 中央公民館 25団体				
評価	花苗の配布を希望しない町内会が多く、希望団体の減少に合わせ配布本数の見直しを行った。				
事業の方向性	現状維持	○	改善継続		
	廃止・中止		見直し縮小		

〔才〕 青少年育成町民会議活動支援・協力					
事業概要	多くの町民との連携のもと、行政関係団体との協力を図りながら、青少年育成町民運動を展開し、次代を担う青少年の健全育成を目的とする。				
実績	☆あいさつ運動 ☆有害図書等調査・万引き防止啓蒙活動巡回 ☆薬物乱用防止運動 ☆夏休み・冬休み帰るコール ☆学校訪問（甲地小、東北小、上北小、東北中、上北中） ◎補助金額：１１０千円（一般財源 １１０千円）				
評価	１２月に予定していた青少年健全育成町民大会は地震の影響により中止となったが、青少年健全育成への活動支援を継続したい。				
事業の方向性	現状維持		改善継続	○	活動実績に応じた支援を行うことで、事業継続を目指す。
	廃止・中止		見直し縮小		

〔力〕 こども会育成連絡協議会活動支援					
事業概要	◆こども会育成連絡協議会の活動を支援する。また、年間を通して事業がスムーズに運ぶよう求めに応じて指導及び助言を行っている。 ●ボウリング大会 ●夏休みデイキャンプ ●雪合戦大会 等 ◎補助金額：５００千円（一般財源 ５００千円）				
実績	☆こども会育成連絡協議会が自主的な運営を行っている。 ☆各单位会による活動の推進 ☆定例理事会（年４回）				
評価	・小学生の社会教育活動の一端を担っている。 ・ドッジボール大会は、団体競技を編成することが単位団体で難しいとなり、ボウリング大会に変更し、開催して好評を得ている。また、親子卓球大会も雪合戦大会へと変更した。				
事業の方向性	現状維持	○	改善継続		
	廃止・中止		見直し縮小		

〔キ〕 青年協議会活動支援	
事業概要	◆青年協議会の活動を支援する。 ●花いっぱい運動参加 ◎補助金額：１５０千円（一般財源 １５０千円）

実績	☆青年協議会による自主的な運営がなされている。 ・花いっぱい運動参加(赤川河川敷にある花壇への花植え)				
評価	・青年教育活性化のため、継続して支援を行っていく。				
事業の 方向性	現状維持		改善継続	○	活動実績に応じた支援を行うことで、事業継続を目指す。
	廃止・中止		見直し縮小		

〔ク〕 連合PTA活動支援					
事業概要	◆連合PTAの活動を支援する。 また、年間を通して事業がスムーズに運ぶよう求めに応じて指導及び助言を行っている。 ●県、町研究大会 ●各委員会研修会 ◎補助金額：150千円（一般財源150千円）				
実績	●定例役員会（年4回）●総会 ●研修会（12月開催）				
評価	・各種会合、研修会が開催され、今後も例年通りの活動が行えるように、関係団体と連携を図っていききたい。				
事業の 方向性	現状維持	○	改善継続		
	廃止・中止		見直し縮小		

〔ケ〕 連合婦人会活動支援					
事業概要	◆連合婦人会の活動を支援する。 また、年間を通して事業がスムーズに運ぶよう求めに応じて指導及び助言を行っている。 ●会員研修会 ●室内運動会 ●地区活動 ●上十三地域婦人団体女性育成研修大会参加 等 ◎補助金額：275千円（一般財源 275千円）				
実績	☆連合婦人会が、自主的な運営を行っている。 ・上十三地域婦人団体女性育成研修大会開催 ・ごみステーション清掃活動 ・会員研修会 ・リーダー研修会 ・室内運動会				
評価	・会員が高齢化してきているため、活動のアピール等による新規会員の加入促進が今後必要とされる。 ・活動が活発になってきており、女性レクの参加、婦人会運動会の開催、会員研修会、リーダー研修会等を実施している。				
事業の 方向性	現状維持	○	改善継続		
	廃止・中止		見直し縮小		

〔コ〕 集会施設等改修・整備事業					
事業概要	地域住民の要望により修繕・改修等実施				
実績	その他各施設の軽微な修繕 1, 226 千円				
評価	・計画的な施設整備・改修等により、施設の長寿命化を図る。また、整備・改修等により安心・安全な施設利用が図られている。				
事業の方向性	現状維持	○	改善継続		
	廃止・中止		見直し縮小		

〔サ〕 集会施設等維持管理点検・修繕事業					
事業概要	◆ 消防法、建築基準法等の法令による点検業務委託及び修繕を実施することにより施設を良好な状態で運営する。 ◆ 事業費 7, 644 千円（一般財源）				
実績	☆ 点検業務 消防設備保守点検業務（21 施設） 防火対象物定期点検業務（20 施設） 自家用電気工作物保安管理業務（1 施設） 浄化槽維持管理業務（15 施設） 貯油槽清掃・埋設配管漏洩検査業務（1 施設） 冷暖房設備保守点検業務（1 施設） 自動ドア保守点検業務（1 施設） 特殊建築物定期調査（19 施設） ☆ 修繕業務 消防用設備及び集会所等修繕				
評価	・定期的な点検業務・設備修繕の実施により安全・安心な施設利用が図られている。				
事業の方向性	現状維持	○	改善継続		
	廃止・中止		見直し縮小		

Ⅲ 芸術・文化の方針と重点

【基本方針】

豊かな情操を育て、文化のかおる、うるおいのある
地域づくりのため、芸術・文化に接する機会を提供
するとともに、活動の推進に努める。

社会教育スポーツ課

施策別主要事業一覧表

〔施策分野〕 芸術・文化の方針と重点			
重 点 項 目		事 業 名	所管課
	(1) 芸術・文化活動の推進	ア 生き活き産業文化まつり	社会教育 スポーツ 課
		イ 文化賞表彰	
		ウ 文化協会活動支援・協力	

〔ア〕 生き生き産業文化まつり					
事業概要	◆目的 町民が日頃の趣味・技術を生かした作品を展示し、観賞の機会を持つことによって、町民の文化意識を高めるとともに東北町の文化振興・発展を図ることを目的とする。 ◆事業内容 ・広報とうほく、町内回覧で一般作品の募集をするとともに文化協会や学校、職域、公民館クラブ等、各関係者間で協力し合い発表の場を展開している。 ◎事業費（文化まつり部門）：710千円（一般財源 710千円）				
実績	☆令和7年11月1日（土）・11月2日（日）開催。 東北町民文化センター・北総合運動公園トレーニングセンター及び町民体育館にて文化協会・一般作品等展示。				
評価	・文化協会の日頃の活動成果及び一般作品等の展示発表により、文化振興・発展を図っていく。				
事業の方向性	現状維持	○	改善継続		
	廃止・中止		見直し縮小		

〔イ〕 文化賞表彰					
事業概要	◆町の文化の普及・振興に尽力のあった個人・団体及び特に顕著な成績を挙げた方々に対し、文化賞を授与する。 ◆表彰・賞状と記念品を授与。 ☆推薦期限 令和7年12月19日 ◎事業費：247千円（一般財源 247千円）				
実績	☆令和7年度 【文化功労賞】2名 【文化奨励賞】2名【特別奨励賞】1名 ☆授与式日時 令和8年2月15日（日） 場 所 東北町コミュニティセンター未来館 ☆今年度は、体育・スポーツ賞と合同で授与式を実施				
評価	・町の文化の普及・振興に尽力のあった個人や団体及び特に顕著な成績を挙げた方々を表彰するものであり、町民を称える事業として重要である。				
事業の方向性	現状維持	○	改善継続		
	廃止・中止		見直し縮小		

〔ウ〕文化協会活動支援・協力					
事業概要	◆「東北町における芸術文化相互の交流と振興を図ることを目的とする」文化協会の活動を支援。また年間を通して活動、事業がスムーズに運ぶよう指導及び助言を行っている。加入団体数３３団体。 ◆ミニ展示、会員研修会開催、芸能発表会主催開催等。 ◎補助金額：５００千円（一般財源 ５００千円）				
実績	☆会員研修会 日時：令和７年９月７日（日） 場所：八戸市公会堂（県民文化祭オープニング） 日時：令和７年１１月３０日（日） 場所：南部町楽々ホール（県民文化祭和太鼓部門） 日時：令和７年１２月８日（月） 場所：八戸美術館（エジプト展） ☆東北町文化協会芸能発表会 日時：令和８年３月８日（日） 場所：東北町民文化センター ☆事業概要に掲載している事業は、自主的な運営がなされている。				
評価	・町の行事と関わる部分があり、文化面での町への貢献度は大きい。会員の高齢化が進んでいるが、町として文化協会活動を支援していくことは重要不可欠である。				
事業の方向性	現状維持	○	改善継続		
	廃止・中止		見直し縮小		

Ⅳ資料館等の施設活動方針と重点

【基本方針】

町民が、自ら郷土の歴史・伝統・文化に触れる学習活動の拠点として、かけがえの無い財産である文化財の活用を通じ、世代を超えて受け継がれ、次代の文化創造・発展の基礎となるべき文化財の保存に努めていく。一人一人が、多様性を尊重し、豊かな心を育みながら郷土愛を持って地域につながる場として、文化財の保護・保存・活用を推進する。

社会教育スポーツ課

施策別主要事業一覧表

〔施策分野〕 資料館等の施設活動方針と重点		
重 点 項 目	事 業 名	所管課
(1) 文化財の保護・保存 (2) 文化財の公開・活用	ア 文化財環境整備事業	社会教育 スポーツ 課
	イ 町内文化財調査事業	
	ウ 遺跡発掘調査事業	
	エ 歴史民俗資料館、日本中央の碑保存館展示等	
	オ 郷土芸能保存伝承事業	

〔ア〕文化財環境整備事業					
事業概要	◆目的 町指定文化財の保存のため、定期的な見回りを行い、また周辺の環境整備を行う。 ◎事業費：３９千円（一般財源３９千円）				
実績	◆町指定天然記念物の環境整備 ６月、１０月実施 ◆職員による指定文化財の定期的な見回り				
評価	町が管理する指定文化財等の環境整備はそのまま実施していく。 個人所有の指定文化財の環境整備について所有者への助言や支援方法など課題がある。				
事業の方向性	現状維持		改善継続	○	個人所有の指定文化財の保存のあり方の検討を行い、事業継続を目指す。
	廃止・中止		見直し縮小		

〔イ〕町内文化財等調査事業					
事業概要	◆目的 町内の文化財の保存と次世代への継承、また町づくりに資することを目的とし、町内の文化財の調査を実施する。 ◎事業費：０千円（一般財源０千円）				
実績	◆町所有の文化財資料を中心に調査、記録を作成。				
評価	◆町内外の求めに対応した文化財資料を中心に調査を行っている。				
事業の方向性	現状維持	○	改善継続		今後、必要性を見極め他の文化財の調査も実施したい。
	廃止・中止		見直し縮小		

〔ウ〕遺跡発掘調査事業					
事業概要	◆開発に伴う包蔵地の確認・回答とその他埋蔵文化財の事前調査と、遺跡保存に係る調査及び学術調査への協力。 ◎事業費：１８千円（一般財源１８千円）				
実績	◆開発に伴う包蔵地の確認・回答とその他埋蔵文化財の事前調査 ・開発に伴う埋蔵文化財包蔵地（遺跡）の確認件数 ２８件 ・土木工事等のための発掘に関する届出等提出件数 ４件 ・事前調査実施件数 ４件 ・試掘調査実施件数 １件 ・工事立会件数 ０件				

	◆学術機関による埋蔵文化財等への学術調査協力 ・学術機関等からの調査協力依頼件数 3件 ※令和5年度から令和7年度までの東京大学による長者久保遺跡発掘調査に協力				
評価	◆東北町は埋蔵文化財包蔵地（遺跡）として県に登録されている件数が395件と県内有数であり、また太陽光発電や風力発電に関係する開発等に伴う埋蔵文化財包蔵地の確認が増える傾向にあるため、事前調査及び本発掘調査等に備えた体制づくりが急務である。 ◆令和5年度より長者久保遺跡の学術調査が東京大学考古学研究室を中心としたチームにより行われており、教育委員会としてはこれに可能な限り協力していく。				
事業の 方向性	現状維持		改善継続	○	調査体制の整備及び収蔵展示の改善を行い、事業継続を目指す。
	廃止・中止		見直し縮小		

〔工〕 歴史民俗資料館、日本中央の碑保存館展示等					
事業概要	◆目的 常設展・特別展・企画展により、町の貴重な資料などを紹介することで歴史・文化財への関心を喚起し、また町外への発信を積極的に行うことで関係人口の増加に繋げ、町づくりに寄与する。 ◆①「歴史民俗資料館」・「日本中央の碑保存館」常設展示 ◆② 特別展「旧小正月の伝統行事と風習展」 ◎特別展事業費：199千円 （一般財源199千円）				
実績	◆「歴史民俗資料館」・「日本中央の碑保存館」の常設展示については、館内掲示の一部多言語化、展示資料の解説の強化、改善を行う ◆特別展「旧小正月の伝統行事と風習展」 開催日：令和8年2月6日（金） ◆特別展「太平洋戦争の記憶展」 開催期間 令和7年8月15日～9月1日 ◆資料館でワークショップ「まが玉・万華鏡をつくろう」 東北町生き生き産業文化まつり期間の11月1日、2日に開催				
評価	・歴史民俗資料館の来館者は1,472名、保存館の来館者数は1,180名。インバウンドの来館者も見られることから、その対応を始めたところである。 ・特別展及び企画展については昨年に引き続き、体験活動を実施し、多くの参加者があり好評だった。				
事業の 方向性	現状維持		改善継続	○	展示内容を現在の状況に合わせ改善を行い、事業継続を目指す。
	廃止・中止		見直し縮小		

〔才〕郷土芸能保存伝承事業					
事業概要	◆郷土芸能保存会（上北地区5団体・東北地区7団体）の、郷土芸能の保存と後継者の育成を支援する。 ・「郷土芸能発表会」を開催。 ◎補助金額：880千円（一般財源 880千円）				
実績	☆郷土芸能保存会の活動。 ・各団体、地域の行事参加。 ・町の祭等、行事への参加。 ・令和8年2月22日（日）東北町郷土芸能発表会開催 場所：コミュニティセンター未来館				
評価	・多くの保存会が、伝承活動や地域行事への参加を積極的に行っている。 ・後継者が少ないという課題は多くの保存会共通の課題である。				
事業の方向性	現状維持		改善継続	○	後継者確保や育成環境の整備と今後、継続が困難な伝統芸能の保存について検討を行い、事業継続を目指す。
	廃止・中止		見直し縮小		

V 公民館等の施設活動方針と重点

【基本方針】

町民の生涯学習の活動拠点である公民館等の施設活用など、学習活動の充実に努め、町民一人ひとりが、心豊かで創造性に富み自己の啓発と向上の研鑽の場として、生きがいのある充実した生活を送る活動の施設とする。

社会教育スポーツ課

施策別主要事業一覧表

〔施策分野〕 公民館等の施設活動方針と重点		
重 点 項 目	事 業 名	所管課
(1) 公民館運営体制の充実 (2) 生涯学習活動支援の充実 (3) グループ、サークル等の育成	ア 各種趣味講座の開設	社会教育 スポーツ 課
	イ 移動（利用）公民館講座の開設	
	ウ 成人式	
	エ 実年式	
	オ 公民館等維持管理点検・修繕事業	

〔ア〕 各種趣味講座の開設					
事業概要	◆生涯教育の中であって、上北地区8種目、東北地区11種目と多岐にわたる趣味講座や教室を開設し、学習の場を提供するとともに、多くの町民相互の交流の場を創出し生きがいのある生活を見出すことを目的に実施。 ◎事業費 605千円（一般財源605千円）				
実績	☆令和7年4月～令和8年3月まで、中央公民館、上北地区公民館、町民文化センター、陶芸館等において、19講座を実施。開設延日数86日、参加延人数約211人。				
評価	- それぞれの講座は、その特色を生かし、参加者の学習意欲を高める場として利用されている。 - 講師の都合で中止となった講座もあるが、今あるグループを支援していきたい。				
事業の方向性	現状維持		改善継続	○	サークル・講座の周知や、新たなサークル・講座開設などの検討を行い、事業継続を目指す。
	廃止・中止		見直し縮小		

〔イ〕 移動（利用）公民館講座の開設					
事業概要	◆地域住民の学習要望に応じ、地域の集会施設に講師等を派遣し、教室や講座を開設して、学習意欲の高揚を図ることを目的に実施。また他に利用公民館講座と称し、中央公民館を利用し、趣味講座・サークルのない種別の講座を町内全域対象に開催し、新しい発見や体験をすることで、多くの町民の交流を図る場を創出することを目的に開設する。 ◎事業費 165千円（一般財源165千円）				
実績	☆移動公民館講座6回開催、参加人数84人 ☆利用公民館講座1回開催、参加人数14人				
評価	- 中央公民館で趣味講座として実施している講座と違い、地域の要望にそった内容で、分館料理教室・健康教室などの利用がある。 - 令和8年度も、地域住民の学習ニーズを反映した講座を開設するよう指導する見込み。				
事業の方向性	現状維持		改善継続	○	利用団体が固定化しているので、他団体へも例を上げて紹介を行い、事業継続を目指す。
	廃止・中止		見直し縮小		

〔ウ〕 成人式					
事業概要	◆成人式は、新たに社会の一員となる成人が、これまで育んでくれた人々や社会に感謝し、成人となることの社会的責任を自覚して、大人としての行動をとっていきかけの場として、また、未来に向かってたくましく生きていこうとする成人を、祝い励ます場として実施している。 ◎事業費 成人式 730千円（一般財源730千円）				
実績	◆1月12日開催（令和5年度は1月7日に開催） ・令和4年度 151人中 98人参加（参加率64.9%） ・令和5年度 129人中 105人参加（参加率81.4%） ・令和6年度 132人中 106人参加（参加率80.3%） ・令和7年度 125人中 85人参加（参加率68.0%）				
評価	☆令和7年度の式典については、開催時期の周知を早めに行ったことで、式典用の晴れ着等の準備の関係も含め、対象者へスムーズな伝達が行えた。 ☆式典時は、記念演奏者と対象者が演奏曲の一曲を斉唱、牛乳で乾杯プロジェクトの実施、記念写真撮影など取り組むことができた。参加率は昨年に比べて減少。				
事業の方向性	現状維持		改善継続	○	開催形式（内容等）について、アンケート調査等を行い、対象者の記憶に残る式典にすることを意識しながら、事業継続を目指す。
	廃止・中止		見直し縮小		

〔エ〕 実年式					
事業概要	◆60歳を迎える方を対象に、社会貢献に対する労いと今後の社会参加や地域づくりのための情報交換の場として開催している。実行委員会を設置、事業内容や運営、企画について決定している。また、式典については町が行い、祝賀会については実行委員会で行なっている。 ◎事業費 142千円（一般財源142千円）				
実績	☆令和6年度は対象者228名 参加者48名（町外参加者含） ☆令和7年度は対象者251名 参加者55名（町外参加者含）				
評価	・実行委員を通じ町外の出身者へ広く案内状を送付				
事業の方向性	現状維持	○	改善継続		
	廃止・中止		見直し縮小		

〔才〕 公民館等維持管理点検・修繕事業					
事業概要	◆消防法、建築基準法等の法令による点検業務委託及び修繕を実施することにより施設を良好な状態で運営する。 ◎事業費 7, 291 千円（一般財源）				
実績	☆点検業務 消防用設備保安点検業務（15 施設） 防火対象物定期点検業務（11 施設） 自家用電気工作物の保安監督業務（3 施設） 浄化槽維持管理業務（8 施設） 貯油槽埋設物配管等漏洩検査業務 暖房設備保守点検検査業務 自動ドア保守点検業務 遊具点検業務（7 施設） 庭園維持管理業務 赤川河川敷花壇監理委託事業				
評価	・定期的な点検業務・設備修繕の実施により安全・安心な施設利用が図られている。 ・施設の老朽化や材料費の高騰などに伴い、事業費の増加が見込まれる。				
事業の方向性	現状維持	○	改善継続		
	廃止・中止		見直し縮小		

Ⅵ図書館の活動方針と重点

【基本方針】

図書館は生涯学習の拠点施設であることから、
学習支援サービス機関として、図書、記録、そ
の他必要な資料の情報を、閲覧、貸出し、レフ
ァレンス等により提供し、地域住民のニーズに
応えるよう、図書館の利用促進を図る。

社会教育スポーツ課

施策別主要事業一覧表

〔施策分野〕 図書館の活動方針と重点		
重 点 項 目	事 業 名	所管課
(1) 図書館の運営とサービスの充実 (2) こども読書活動の推進 (3) 学習情報の提供と学校図書館への支援 (4) 読書団体組織への支援による活動の充実	ア 図書館利用の促進活動	社会教育 スポーツ 課
	イ 情報ネットワークサービスの実施	
	ウ こどもの読書活動推進	

〔ア〕 図書館利用の促進活動					
事業概要	◆図書館（本館・分室）の運営とサービスの提供。 ・図書館資料収集の充実、資料活用（展示等）を図る。 ・リクエストやレファレンスに対する迅速な対応を図り、利用者へのサービスの充実を図る。 ・町 HP、広報とうほくへの新着案内及び各イベントのお知らせ掲載により、利用者の増加の促進を図る。 ・職員の研修会等への参加により、資質の向上を図る。 ◆郷土関係資料及び行政資料・寄贈資料等の整備と提供、資料室や閉架書架の整備、書架の確保と適切な配架、郷土資料等のデータ整備を進める。 ◆広報や町 HP の電子回覧板を用いて図書館だよりやおすすめ本を紹介した。 ◎事業費 6, 177 千円（一般財源 6, 177 千円）				
実績	☆各賞受賞本や年中行事等の時期にあわせ、一般書、児童書等の展示を実施した。 ☆リクエストには、当館としての所蔵の必要性を考慮しながら購入等の対応を実施した。 ☆感染症拡大防止対策を行いながら図書館を運営し、来館者が安心して利用できるように努めた。				
評価	・感染症拡大防止対策に努めながら、イベント等の事業は計画どおりに実施した。 ・資料室、閉架書架等の整備、書架の確保と適切な配架を行うことにより、利用者が利用しやすい環境を心掛け、今後も資料収集に取り組む。				
事業の方向性	現状維持	○	改善継続		
	廃止・中止		見直し縮小		

〔イ〕 情報ネットワークサービスの実施					
事業概要	◆県立図書館による支援事業の積極的な活用。 ◆他市町村図書館とのネットワーク確立による、相互貸借等の充実を図る。 ◎事業費 954 千円（一般財源 954 千円）				
実績	☆県立図書一括貸出や協力用図書セット（大型絵本）等、図書パッケージを利用し、当館に不足する分野（分類）の充実を図った。 ☆県立図書館主催の事業や上図連の研修に参加することにより、図書館運営の参考になった。 ☆県内市町村館とのネットワーク（アブリンズ）活用。書誌データベース（Toolii）利用開始。				
評価	・県立一括貸出が浸透し、利用者の需要に応えられる図書館として今後も相互貸借等のサービスを継続していく。 ・当館所蔵のない資料への対応を、県内市町村館ネットワークの相互貸借を利用し、図書を提供することに努めた。				
事業の方向性	現状維持	○	改善継続		
	廃止・中止		見直し縮小		

〔ウ〕 こどもの読書活動推進					
事業概要	◆こどもの読書活動の推進を図る。 ・ブックスタート事業の実施により本との出会いや読書がしやすい環境整備を促進する。 ・ボランティア団体等の連携により保育園（所）、での定期的な読み聞かせを実施し、多様な図書に親しむ機会を提供する。 ・絵本専門士とピアニストによるおはなし会（絵本と音楽のおはなしコンサート）の開催。 ・保育園（所）、小学校を訪問しての読み聞かせ（トランクらいぶらりー d e えほんライブ）を実施し、こどもの自主的な読書活動につなげる。 ◎事業費 1, 335 千円（一般財源 1, 335 千円）				
実績	☆ブックスタート事業は、保健衛生課の協力のもと、6か月児健康相談時において行った。 感染症拡大防止対策を継続し、保健師から乳児とその保護者へ絵本を手渡ししてもらった。 ☆読み聞かせは、1 団体・1 ユニットがそれぞれ実施希望する保育園および小学校で行った。 ☆「読み聞かせまんぷく」「まんぷく読書」は夏季・冬季にわけず通年開催した。				
評価	・感染症対策や町の SNS を利用した新たな読書活動推進方法を進める。 ・第四次東北町子ども読書活動推進計画にある目標値に近づくための具体的な取り組み。 ・社会教育指導員を配置し、乳幼児期から本に親しむ機会の提供（家庭での読書環境整備や習慣づけへのねらい）に標準をつけ、継続して取り組む。				
事業の方向性	現状維持	○	改善継続		
	廃止・中止		見直し縮小		

VII 社会体育の方針と重点

【基本方針】

すべての町民が、生涯にわたって気軽にスポーツに親しみ、健康で活力ある生活を送れるよう、また、スポーツの盛んな町として地域特性を生かした明るく豊かなまちづくりが進められるよう、スポーツ施設の整備充実、各種スポーツ団体の活動を支援しながら、だれもが気軽に楽しめるスポーツの普及や競技スポーツの振興に努める。

社会教育スポーツ課

施策別主要事業一覧表

〔施策分野〕 社会体育の方針と重点		
重 点 項 目	事 業 名	所管課
(1) 地域に根ざしたスポーツの振興 (2) スポーツ環境の整備充実 (3) 職員の能力向上とスポーツ推進委員の活用	ア スポーツ振興事業の実施	社会教育 スポーツ課
	イ 各種大会派遣事業	
	ウ 研修会等への派遣事業	
	エ 体育施設有効利用と促進事業	
	オ 各種体育団体への助成事業	

〔ア〕スポーツ振興事業の実施

1. 町民総合体育大会					
事業概要	◆小学生から一般まで広く町民にスポーツに参加する場を提供し、健康と体力の向上を図り、地域の連携と町民相互の連帯を高めることを目的に秋（野球、ソフトボール、グラウンドゴルフ、ソフトバレー）・冬（バスケットボール、卓球、ボウリング、バレーボール、）2回開催している。				
	◆事業費 320千円（一般財源 320千円）				
実績	◆期 日	（秋季）令和7年9月28日(日)・10月25日(土)			
	◆場 所	南総合運動公園野球場・ソフトボール場・北総合運動公園野球場			
	◆参 加 者	軟 式 野 球	5 チーム		
		ソフトボール男子	4 チーム		
		ソフトバレーファミリー	4 チーム		
		ソフトバレーオープン	2 チーム		
		グラウンドゴルフ	6チーム	（10月25日(土)開催）	
	◆成 績	軟 式 野 球	優勝 栄 町		
		ソフトボール男子	優勝 甲 地		
		ソフトバレーオープン	優勝 旭 町		
		ソフトバレーファミリー	優勝 南 町		
		グラウンドゴルフ	優勝 栄 町		
	◆期 日	（冬季）令和8年1月28日(水)・令和8年2月1日(日)			
	◆場 所	東北町民体育館・北総合運動公園トレーニングセンター・三沢ボウル			
◆参 加 者	バレーボール男子	4チーム			
	卓 球	4 チーム			
	ボ ウ リ ン グ	8チーム			
	バスケットボール	2チーム	（令和8年1月28日(水)開催）		
◆成 績	バレーボール男子	優 勝 上 野			
	卓 球	優 勝 栄 町			
	ボ ウ リ ン グ	優 勝 旭 町			
	バスケットボール	優 勝 旭 町			
◆総 合 成 績	・総合優勝 旭 町 ・準優勝 栄 町 ・第3位 乙 供				
評価	◆全地区の参加を目指し地域への呼びかけをしているが、参加状況は減少の傾向にある。地区代表者からの伝達を含め、町広報、町テレビ等も活用しながら周知活動に努める必要がある。				
	◆参加している地区から各競技要項の見直し等の要望が出ているため、各協会と協議をしていながら参加地区、参加人数が増加するよう継続し、今後の推移を見守る。				
事業の 方向性	現状維持		改善継続	○	各協会と協議を行い、事業継続を目指す。
	廃止・中止		見直し縮小		

2. 東北町長旗争奪中学校野球・ソフトボール大会					
事業概要	◆町内中学生の相互の連帯意識を高めるとともに、近隣市町村中学校の野球及びソフトボールの技術向上と普及発展を図りながら、非行防止と健全育成を目的とする事業 ◆事業費 123千円（一般財源123千円）				
実績	◆期 日 令和7年5月10日(土)～5月11日(日) ◆場 所 南総合運動公園野球場・ソフトボール場 ◆参加市町村 東北町、十和田市、三沢市、六戸町、七戸町、青森市 ◆参加者 軟式野球 7チーム ソフトボール 2チーム ◆成績 軟式野球 優勝 上北BBC INFINITY 準優勝 甲東・十和田東・十和田第一中学校 ソフトボール 優勝 天間林・三沢二・六戸学園・上北中学校 準優勝 青森西・甲田中学校				
評価	◆中体連前の大会で、各参加チームの力を試せる大会であり、技術の向上と相互の交流を図りスポーツ振興に努めている。 ◆軟式野球、ソフトボール競技とも部員数の減少によりチーム編成ができなくなっている状況であるため、今後継続していくためには参加チームを確保するために、努力が必要となってくる。				
事業の方向性	現状維持	○	改善継続		
	廃止・中止		見直し縮小		

3. 町民グラウンドゴルフ大会					
事業概要	◆グラウンドゴルフ競技をとおして、町民が集い、余暇を活用し楽しみながら健康づくりに対する意識を向上させ健康を維持・増進を図る事業 ◆事業費 68千円（一般財源 68千円）				
実績	◆期 日 令和7年6月22日(日) ◆場 所 北総合運動公園グラウンドゴルフ コース ◆参加者 47名 ◆成績 Aブロック 男子優勝 小笠原保男 女子優勝 鎌本 ミヤ Bブロック 男子優勝 蛸沢 久志 女子優勝 中村 玲子				
評価	◆町内のグラウンドゴルフ愛好者が余暇を活用し、楽しみながら交流を深め健康維持・増進が図られているため継続して実施する。 ◆参加者が減少傾向にあるため、広く周知を行い幅広い年代の参加者を確保する必要がある。				
事業の方向性	現状維持		改善継続	○	協会と協議を行い、事業継続を目指す。
	廃止・中止		見直し縮小		

4. 東北町高齢者ゲートボール大会					
事業概要	◆東北町に在住する高齢者が一堂に集い、余暇の活用を楽しみながら健康づくりの意識を高め相互の親睦を深めるとともに、健康の維持・増進を図る事業 ◆事業費 〇千円（一般財源 〇千円）				
実績	中止				
評価	ゲートボール協会から本年の運営が困難であると相談を受け中止とした。				
事業の方向性	現状維持	○	改善継続		
	廃止・中止		見直し縮小		

5. 東北町長旗争奪親善グラウンドゴルフ大会					
事業概要	◆県内のグラウンドゴルフ愛好者が集うグラウンドゴルフコースを使う大会、相互の親睦と交流の輪を広げることで、競技の普及・振興を図る。 ◆事業費 〇千円（一般財源 〇千円）				
実績	◆中止				
評価	◆グラウンドゴルフ協会と協議したが、協会員の高齢化のため運営が困難となり中止とした。				
事業の方向性	現状維持		改善継続	○	協会と協議を行い、事業継続を目指す。
	廃止・中止		見直し縮小		

6. 女性レクリエーション大会					
事業概要	◆冬季間の女性の運動不足の解消と余暇を利用した健康づくりの意識の向上を図り、地域のリーダー作りも目指している事業 ◆事業費 63千円（一般財源 63千円）				
実績	◆期 日 令和8年1月18日(日) ◆場 所 北総合運動公園トレーニングセンター 「アリーナ」 ◆参加者 11チーム 78名 ◆成績 優勝 内蛸沢婦人会 準優勝 STRONG・M（ストロング・マミー） 第3位 フレンズ				
評価	◆冬季間の余暇を活用し楽しみながら体を動かすことで、健康づくりに対する意識を高めるとともに、地域女性相互間の親睦と連携を図っている。 ◆今年度は、参加チームも分館単位のみならず、職場・友人とのチーム編成としたことにより、昨年より多くの参加のもと開催できた。今後も、環境を整え継続していく。				
事業の方向性	現状維持		改善継続	○	周知等検討し、事業継続を目指す。
	廃止・中止		見直し縮小		

7. 青森県小学生駅伝競走大会					
事業概要	◆小学生から駅伝に参加することで、駅伝に親しむとともに、駅伝の普及と振興を図り、「たすきで継ぐ」連帯と団結心を養い、青少年の健全育成を図る事業。 ◆事業費 984 千円（町補助金 816 千円 ・ 参加料等 168 千円）				
実績	◆期 日 令和 7 年 6 月 7 日(土) ◆場 所 北総合運動公園陸上競技場 ◆参加者 男子 9 チーム（オープンを含む） 女子 11 チーム ◆成績 優勝 男子 アスリートクラブ東北 A 女子 田舎館アスリートクラブ 準優勝 男子 おいらせアスリートクラブ A 女子 MASAKARI 陸上クラブ				
評価	◆昨年よりチーム数は増加したが、競技人口が減少しているため、大会要項等の見直しが必要。				
事業の方向性	現状維持		改善継続	○	大会要項等見直しを行い、事業継続を目指す。
	廃止・中止		見直し縮小		

8. わかさぎマラソン大会					
事業概要	◆町内外のマラソン愛好者を集い交流を図り、わが町の観光及び施設を広く紹介し町の活性化を図るとともに、マラソンを通じて、町民の健康増進の意識向上を図る事業。 ◆事業費 8,574 千円 （町補助金 5,774 千円・参加料 2,212 千円・協賛金 500 千円 その他 88 千円）				
実績	◆期 日 令和 7 年 1 0 月 4 日(土) ◆場 所 東北町わかさぎ公園 ◆参加申込数 752 人 （県内 643 名、県外 109 名）670 名完走 ◆ゲストランナー SUBARU 所属 三浦 龍司 氏				
評価	◆昨年度から県外からの参加募集を行い参加者は増加した。今後は、参加者 1,000 人を目指し、広報活動等の強化・推進を図る。				
事業の方向性	現状維持		改善継続	○	広報活動等の強化を行い、事業継続を目指す。
	廃止・中止		見直し縮小		

9. ヨット・カヌー・水泳等海洋性スポーツ教室					
事業概要	◆B & G海洋クラブの会員増を図ることと、海洋性スポーツの楽しさを普及することにより、興味を抱かせ、広く海洋性スポーツの振興を図る事業。 ◆事業費 44千円（一般財源 44千円）				
実績	◆期 日 令和7年7月29日、令和7年8月1日、令和7年8月3日 令和7年7月21日、23日、24日、25日（水泳教室） ◆場 所 浜台艇庫・北総合運動公園トレーニングセンター 「プール」 ◆参加者 ヨット・カヌー教室 延 60人 水泳教室（4日間） 延 14人				
評価	◆ヨット・カヌー教室は、育成士会の協力の下、教室参加者の安全を確保して普及に努めることができた。また、昨年度よりも参加人数が減となったが、3回実施することができた。 ◆水泳教室は、1～3年生の泳ぎが苦手な子ども達を対象に実施。水泳指導員協力の下、水に慣れることを中心に指導していただき、最終的には多少の泳力を身に付けて教室を終えることができた。				
事業の方向性	現状維持	○	改善継続		
	廃止・中止		見直し縮小		

10. B & G杯争奪ソフトバレーボール大会					
事業概要	◆冬季間の運動不足の解消とソフトバレーボールの普及を目的とした事業 ◆事業費 57千円（一般財源 57千円）				
実績	◆期 日 令和8年2月8日（日） ◆場 所 北総合運動公園トレーニングセンター ◆参加者 男女混合部 4チーム ファミリーの部 4チーム ◆成績 男女混合部 優勝 ファンキーズ 準優勝 青の組織 ファミリーの部 優勝 パンダ 準優勝 TEAM KOGAL				
評価	◆参加チーム数は当日キャンセルがあり減少したが、昨年度ファミリーの部に変更したことにより、大会自体に熱気があり、出場チームからも好評のため継続事業として進めていきたい。				
事業の方向性	現状維持	○	改善継続		
	廃止・中止		見直し縮小		

11. 東北町長杯争奪ゲートボール大会					
事業概要	◆近隣市町村の高齢者が一堂に集い、余暇の活用を楽しみながら健康づくりの意識を高め相互の親睦を深めるとともに、健康の維持・増進を図る事業 ◆事業費 23千円（一般財源 23千円）				
実績	◆期 日 令和7年10月24日(金) ◆場 所 北総合運動公園 すぱーく東北 ◆参 加 者 10チーム 58名 ◆成 績 優勝 悠 遊（十和田市） 準優勝 乙 供（東北町）				
評価	◆高齢者の健康増進に適している事業である。今後とも継続するが、ゲートボールの競技人口が減少する一方なので、競技人口の拡大を図りながら高齢者の健康づくりの意識向上に努める。				
事業の方向性	現状維持	○	改善継続		
	廃止・中止		見直し縮小		

12. わかさぎカップ争奪小学生ソフトボール大会					
事業概要	◆県内小学校のソフトボールの技術向上と普及発展を図りながら、非行防止と健全育成を目的とする事業 ◆事業費 0千円（一般財源 0千円）				
実績	◆中 止				
評価	◆参加チーム数が減少し、昨年度の参加チーム等と協議した結果、中止とした。				
事業の方向性	現状維持	○	改善継続		
	廃止・中止		見直し縮小		

13. 体育・スポーツ賞					
事業概要	◆東北町民及び東北町に所在する団体で、スポーツ活動において町民の健康増進、技術の向上並びに普及に努め、東北町のスポーツ振興に貢献した人に授与する。また、各種大会において優秀な成績を収め、広く町民の模範となるべき人に授与する。 ◆事業費 448千円（一般財源 448千円）				
実績	◆期 日 令和8年2月15日(日) 13時00分から ◆場 所 東北町コミュニティセンター ◆受賞者 功 労 賞 3 名 スポーツ賞 7 名 優秀選手賞 個人 16 名 団体 2 団体（29 名） 合計 55 名				
評価	◆本年度は、文化賞、体育・スポーツ賞の開催予定。				
事業の方向性	現状維持	○	改善継続		
	廃止・中止		見直し縮小		

〔イ〕 各種大会派遣事業

1. 上北郡総合スポーツ大会					
事業概要	◆上北郡各町村持ち回りで行う総合スポーツ大会(町村対抗)の参加に派遣費として助成することで、スポーツ競技の競技力向上を目指す。 ◆事業費 626 千円（町補助金 450千円・参加負担金等 176 千円）				
実績	◆期 日 令和7年5月18日(日) 24日(土) 25日(日) 31日(土) 6月 1日(日) ◆場 所 主会場 六戸町 ◆参加者 17競技16種目・223人 ◆成績 総合優勝 ◆種 目 別 優 勝5種目 ソフトボール男女、バスケットボール男、剣道、ゴルフ、柔道 準優勝1種目 陸上				
評価	◆次年度も総合優勝できるように支援を続ける。				
事業の方向性	現状維持	○	改善継続		
	廃止・中止		見直し縮小		

2. 市町村対抗青森県民体育大会					
事業概要	◆青森県の市及び町村別で行われる総合体育大会の参加に派遣費を助成することでスポーツ競技の競技力向上を目指す。 ◆事業費 1,380千円（町補助金 1,200千円・参加負担金等 180千円）				
実績	◆期 日 令和7年7月19日（土）・20日（日）・21日（月）・26日（土） 27日（日） ◆場 所 主会場 東青地域 ◆成 績 総合4位 （1位 六ヶ所村・2位 鶴田町・3位 板柳町） ◆種 目 別 優勝1種目 ソフトボール女子 準優勝1種目 柔道 第3位3種目 バトミントン、ソフトボール男子				
評価	◆総合3位を目指したが目標には届かず、4位となった。来年度は優勝種目3、準優勝・3位種目5を目標に掲げ更なる向上を目指す。				
事業の方向性	現状維持	○	改善継続		
	廃止・中止		見直し縮小		

3. 北奥羽総合体育大会					
事業概要	◆上北郡の代表として青森県南・岩手県北等北奥羽圏の郡市で行われる総合体育大会の参加に派遣費を助成することでスポーツ競技の競技力の向上を目指す。 ◆事業費 842千円（町補助金 720千円・参加負担金等 122千円）				
実績	◆期 日 令和7年7月6日（日）～8月23日（土） ◆場 所 主会場 二戸地区 ◆種 目 別 総合 上北郡 第4位 優勝 3種目 ソフトボール女子、クレ射撃（トラップ）、 グラウンドゴルフ男子 準優勝 4種目 バレーボール男子、卓球男子、ゲートボール、剣道 第3位 5種目 バスケットボール男子、ソフトボール男子 サッカー、ボウリング、グラウンドゴルフ女子				
評価	◆上北郡総合体育大会で優勝等した種目が上北郡代表として出場し、他の9郡市と競う大会であり、県民体育大会よりレベルが高い大会なので、多くの種目が出場し上位入賞を目指してほしい。				
事業の方向性	現状維持	○	改善継続		
	廃止・中止		見直し縮小		

4. 青森県民駅伝競走大会					
事業概要	◆青森県全市町村が参加する市町村対抗の駅伝競走大会の参加に強化費等を助成。 ◆事業費 1,071千円 (町補助金 1,000千円・県補助金 60千円・雑収入等 11千円)				
実績	◆期 日 令和7年9月7日(日) ◆場 所 青森市(青森県観光物産館アスパム～カクヒログループアスレチックスタジアム) ◆参加者 市の部 9チーム 町の部 22チーム 村の部 8チーム 計 39チーム ◆成績 町の部 優勝 総合 第6位				
評価	◆令和9年度は、町の部連覇、総合優勝を目指す。(令和8年度大会中止のため)				
事業の方向性	現状維持	○	改善継続		
	廃止・中止		見直し縮小		

5. B & Gスポーツ大会青森県大会					
事業概要	◆B & G地域海洋センターを有する市町村で開催する大会で、海洋性レクリエーションを通して各センタークラブ相互の連帯と親睦を図る。 ◆事業費 290千円(一般財源 290千円)				
実績	◆期 日 令和7年7月29日(火) ◆場 所 【水上競技】鶴田町 鶴田町B & G海洋センター艇庫 【水泳競技】弘前市 弘前市B & G海洋センタープール ◆参加者 水上の部4名 水泳の部延べ102名 ◆成績 【水上の部】4名出場 中学生男子 カヌー 第2位 山田詩流 【水泳の部】以下のとおり 【小学生】 小学生女子 50m背泳ぎ 第2位 鶴ヶ崎珠來 小学生女子 50mバタフライ 第1位 鶴ヶ崎珠來 小学生女子 50mバタフライ 第2位 萌出 心亜 小学生男子 50mバタフライ 第2位 鶴ヶ崎柊月 小学生男子 50mバタフライ 第3位 鶴ヶ崎伶椰 小学生女子 200mメドレーリレー 第1位 小学生男子 200mメドレーリレー 第2位 小学生女子 200mフリーリレー 第1位 小学生男子 200mフリーリレー 第2位 【中学生】 中学生女子 50m背泳ぎ 第2位 原田 珠來 中学生男子 50mバタフライ 第2位 萌出 悠真 中学生女子 100m自由形 第3位 原田 珠來				

	中学生男子 200mメドレーリレー 第2位 中学生男子 200mフリーリレー 第2位				
評価	◆今後も町内の学校へ呼びかけて参加者を募りたい。また、大会を通じて、他の海洋センター員と交流が図られたので、継続して大会へ参加したい。				
事業の 方向性	現状維持	○	改善継続		
	廃止・中止		見直し縮小		

6. スポーツ振興助成金等	
事業概要	◆町内に住所を有して、スポーツ活動を行っている個人又は団体に対しスポーツ振興を図るため、必要な資金を援助することを目的とした事業（育成・派遣・強化） ◆事業費 1,389千円（一般財源 1,389千円）
実績	スポーツ振興助成金 ◆第12回東北少年柔道形競技会（山形県） ◆東日本小学生選抜ソフトテニス大会（宮城県） ◆第42回全国少年少女レスリング選手権大会（東京都） ◆2025年度マルちゃん杯全日本柔道大会（東京都） ◆第39回全国ホープス北日本ブロック大会（福島県） ◆全農杯2025年全日本卓球選手権大会（兵庫県） ◆第15回日整全国少年柔道形競技会（東京都） ◆第42回全日本小学生ソフトテニス選手権大会（茨城県） ◆KENKO CUP 第16回東日本小学生男女ソフトボール大会（栃木県） ◆公認ソフトテニスコーチ1養成講習会（岩手県） ◆第42回全国少年少女レスリング選手権大会（東京都） ◆第45回東北ブロックスポーツ少年団柔道交流大会（福島県） ◆第35回東北小学生学年別ソフトテニス大会（福島県） ◆第45回東北ブロックスポーツ少年団柔道交流大会（福島県） ◆第31回東北小学生バドミントン大会（秋田県） ◆第80回全日本ソフトテニス選手権大会（東京都） ◆第54回東北中学校ハンドボール大会（山形県） ◆2026全日本小学生選抜クロスカントリー大会（北海道） ◆日本リトルシニア第16回林和男旗杯野球大会（宮城県） ◆第18回東北中学校バドミントン選手権大会（弘前市） ◆フォーデイズカップ第30回全国少年少女選抜レスリング選手権大会（弘前市）
評価	◆全国・東北大会等に出場する派遣費を助成することでスポーツ振興を図れた。

事業の 方向性	現状維持	○	改善継続		
	廃止・中止		見直し縮小		

7 地域スポーツ振興助成金					
事業 概要	◆地域におけるコミュニティの形成を促進し、住民の健康増進並びに体力増強に寄与することを目的に、スポーツ・レクリエーション等の活動に助成する。 ◆事業費 255千円（一般財源 255千円）				
実績	◆10町内会にて実施 美須々、乙供、旭町、夫雑原、栄町、千曳、寒水、水喰、淋代、蛭沢				
評価	◆住民の自主的なスポーツ・レクリエーション等の活動を呼びかけたところ10町内会が実施した。今後も分館及び町内会の実施増加を目指し、地区代表者から各地域への伝達を含め、町広報も活用しながら周知活動に努めたい。				
事業の 方向性	現状維持	○	改善継続		
	廃止・中止		見直し縮小		

〔ウ〕 研修会等への派遣事業

事業 概要	◆職員・スポーツ推進委員等の諸研修会及びリーダー・指導員の育成派遣事業 ◆事業費 259千円（一般財源 259千円）				
実績	◆上北地区研修会派遣（スポーツ推進委員等）・・・ 6名 ◆上十三地区スポーツ推進委員研修会派遣・・・・・・ 6名 ◆上十三地区スポーツフェスティバル派遣・・・・・・ 1名 委員長（七戸町） （グラウンドゴルフ協会・ラージボール協会・バレーボール協会へ協力依頼）30名 ◆東北地区スポーツ推進委員研修会（福島県）・・・・ 2名 （職員1名）				
評価	◆研修会に派遣することにより、職員、スポーツ推進委員等の育成及び資質の向上に努めることができた。				
事業の 方向性	現状維持	○	改善継続		
	廃止・中止		見直し縮小		

〔工〕 体育施設有効利用と促進事業

事業概要	◆町民に、体育施設を積極的に活用してもらうため、施設の維持補修及びスポーツの振興並びに健康の維持・増進を図る。		
	◆事業費		
	【南運動公園】		
	運動公園施設改修等工事費	(一般財源	3,498千円)
	野球場施設整備工事費	(一般財源	5,500千円)
	【北運動公園】		
	25mプール昇温用ポンプ改修工事	(一般財源	781千円)
	北総合運動公園フェンス改修工事	(一般財源	1,265千円)
	25mプール用ろ過機改修工事	(一般財源	4,488千円)
	合宿所消防用設備改修工事	(一般財源	10,241千円)
実績	合宿所冷房機電源工事	(一般財源	787千円)
	北総合運動公園内法面等補修工事	(一般財源	198千円)
	ウォータースライダー塗装工事	(一般財源	1,074千円)
	【B&G 海洋センター】		
	B&G 海洋センター艇庫シャッター塗装工事	(一般財源	1,199千円)
	◆野球場門扉等更新工事		
	野球場一塁・三塁側の出入口の門扉を更新した。		
	◆25mプール昇温用ポンプ改修工事		
	老朽化によりポンプから異音がしていたため、昇温用ポンプの入替えを行った。		
	◆北総合運動公園フェンス改修工事		
フェンスが腐食及び除雪により破損していたため、フェンスの一部を撤去し、新設した。			
◆25mプール用ろ過機改修工事			
冷暖房設備保守点検でろ過機内部の腐食及びろ材の劣化があったため、ろ過機内部の FRP 加工及びろ材交換を行った。			
◆合宿所消防用設備改修工事			
消防用設備保守点検で指摘があり、非常用発電機を設置する必要があったため、非常用発電機を新設した。			
◆合宿所冷房機器設置工事			
利用者が一番集中する時期に仮設の冷房機器を設置し、利便性を図った。			
◆北総合運動公園内法面等補修工事			
園内道路の法崩れ及び側溝が詰まっていたため側溝清掃、法面の補修工事を行った。			
評価	◆年間を通して、施設の利用促進を図ることにより、町民の健康の維持・促進を図るとともにスポーツ振興の向上に努めている。また、既存のスポーツ施設・設備等の改修を計画的に行っており、安全性の向上と利用しやすい環境づくりに努めている。しかしながら、各施設の付帯備品などを含め老朽化による改善費用、公園全体の維持管理費などがかさみ続けており、その対応が今後の課題となっている。		

事業の 方向性	現状維持	○	改善継続		
	廃止・中止		見直し縮小		

〔才〕 各種体育団体への助成事業

事業 概要	◆各種体育団体の育成及び強化に対して助成することによりスポーツの振興を図る。 ◆事業費 14,542千円（一般財源 14,542千円）				
実績	◆県民体育大会派遣費補助金・・・補助金 1,200千円 ◆北奥羽総合体育大会派遣費補助金・・・補助金 720千円 ◆県民駅伝大会派遣費補助金・・・補助金 1,000千円 ◆東北町スポーツ協会・・・補助金 3,600千円 ◆町民総合体育大会補助・・・補助金 320千円 ◆わかさぎマラソン大会補助金・・・補助金 5,774千円 ◆県小学生駅伝競走大会補助金・・・補助金 816千円 ◆郡総合スポーツ大会派遣費補助金・・・補助金 450千円 ◆県スポーツ推進協議会負担金・・・負担金 7千円 ◆県スポーツ推進協議会負担金・・・負担金 15千円 ◆上十三スポーツ推進委員協議会負担金・・・負担金 8千円 ◆全国スポーツ推進委員連合普通会員登録負担金・・・負担金 8千円 ◆東北地区スポーツ推進委員研修会参加負担金・・・負担金 8千円 ◆郡総合スポーツ大会負担金・・・負担金 200千円 ◆東北町海洋センター育成士会・・・補助金 100千円 ◆B & G スポーツ大会補助金・・・補助金 290千円 ◆青森県地域海洋センター協議会・・・負担金 26千円				
評価	◆各団体の資質の向上とスポーツ振興を図ることに努める。				
事業の 方向性	現状維持	○	改善継続		
	廃止・中止		見直し縮小		

東北町教育委員会